

平成22年度 自己評価報告書

学校名 石薬師高等学校

(1) 学校経営の改革方針における今年度の重点取組についての評価結果

| 項目 | 行動計画の目標・評価方法 | 達成状況・評価結果 | 具体的取組に関する成果や課題 |
|------|--|---|---|
| 教科指導 | <p>1 新学習指導要領の実施にあわせて、教育課程の見直しをします。 多様な選択科目、総合的な科目、地域に根ざした選択科目 教科の枠を超えた福祉や地球環境問題</p> <p>2 原級留置、中途退学に到るまでの原因と分析をはかり、授業の内容や指導方法の改善や工夫の方策を全校的に考えます。</p> <p>3 杉の子特別支援学校石薬師分校生との共生共学の場を模索しつつ、教育内容の充実を図ります。</p> | <p>1 自衛隊の協力による救命講習、防災教育推進校の指定を受けて、消防学校の協力による防災体験授業を行った。</p> <p>2 毎月教務委員会を開催し、生徒の基礎学力の定着について具体的な取組を検討した。また、三重県版「効果のある学校づくり」事業の実施にあわせ、県内外の先進校の視察や授業の公開を行い指導方法を研究した。</p> <p>3 音楽の授業で、石薬師分校の生徒と合同の授業を実施した。また、美術部やボランティア部の活動で交流を行った。</p> | <p>先進校への視察や授業公開により、職員の授業改善や特別な支援が必要な生徒への取組への意識が高まり出した。また、習熟度別学習への具体的な体制の検討ができた。</p> <p>検定試験等に積極的に挑戦し、その成果を出すと共に、自らのキャリアアップを目指す生徒が増加してきた。</p> <p>生徒の質的变化に対応していく必要性に迫られており、特別な支援が必要な生徒への具体的な取組や授業方法の改善のための研修の実施を通して教員の意識改革が必要である。</p> |
| 生徒指導 | <p>1 「ルールやマナーを守ることが当たり前」と考える生徒の育成を目指します。</p> <p>2 基本的な生活習慣を身につけさせ、社会に求められる人材の育成を目指します。</p> <p>3 交通安全、盗難防止、落ち着いた学習環境の確保と校外での事件事故の未然防止に努めます。</p> | <p>1 担任を中心にルールやマナーについて、生徒に積極的に意識の向上を図った。</p> <p>2 服装指導等を通して、日々の生活習慣を身につける意識を高めた。</p> <p>3 事件の発生時に緊急に全校集会を行うなど迅速な取組により、その後の事件発生防止に努めた。また、校外の交通指導も随時行った。</p> | <p>継続的な頭髪・服装の指導は一定の成果があった。しかし、生徒指導措置の件数は増加の傾向があり、本年度は暴力行為と喫煙が増加している。生徒のコミュニケーション能力を育てたり、保護者との連携を深める取組等を全教員で対応する必要がある。</p> |

| 項目 | 行動計画の目標・評価方法 | 達成状況・評価結果 | 具体的取組に関する成果や課題 |
|------|--|---|--|
| 進路指導 | <p>1 様々な職業・職種に対する理解を深めさせます。既に仕事に就いている先輩や企業の人事担当者等から現場の声を聞かせることにより、あらゆる職場にも対応できる心構えを養います。</p> <p>2 生徒の実態や適性、希望に基づいた進路指導を行い、進路先の確保に努めます。また、企業からも信頼される就職希望者の学校幹旋を目指します。</p> <p>3 就職・進学それぞれの希望者について、80%以上の就労、進学を目指します。</p> | <p>1 3年生対象保護者会にほぼ100%の保護者が出席、本年度より、2年生の保護者にも進路説明会を開催することができた。</p> <p>2 就職希望者企業見学に積極的な参加を勧めた。生徒との面接を密にし、生徒の適正に応じた進路指導に努めた。</p> <p>3 就職希望者の内定率100%を達成、進路ガイダンスの充実や校外模試の受験の促進に努めた。</p> | <p>進路の早期意識付けができた。また、プレゼンテーションの工夫を図ったため、保護者、生徒から前向きな感想があった。</p> <p>企業の方からの話は教育効果が非常に大きいため、今後も生徒の進路希望にそって説明会に参加してくれる卒業生、企業の確保が必要である。</p> <p>基礎学力の不足による進路の未決定を無くするための取組が必要である。また、進路未決定のまま卒業する生徒を減少するために低学年からのキャリア教育の充実が必要である。</p> |
| 保健 | <p>卒業後、就職して社会人となる生徒が半数以上なので、一人ひとりが自分の健康に関心を持ち、基本的な生活習慣を確立するなど、健康の自己管理ができるよう働きかけます。また、心身ともに健康な状態で充実した学校生活を送れるように援助していきます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健だよりの発行：6回以上 ・ 歯科検診 う歯なし 13.8% 治療生徒平均11.9%、 裸眼視力Aの生徒39.2% ・ 保健室利用状況 <ul style="list-style-type: none"> 内科的処置 407人 外科的処置 167人 ・ 教育相談 生徒 65人 教職員 61人 | <p>保健だよりの発行は、注目されたニュースを中心に啓発したので、検診前の心構えに役立った。</p> <p>教育相談は、カウンセラーが交代したこともあり、相談件数は減少したが、生徒が多くの課題を抱えている実態であり、学年と担任が連携して取組を一層進める必要がある。</p> |

| 項目 | 行動計画の目標・評価方法 | 達成状況・評価結果 | 具体的取組に関する成果や課題 |
|----|--|--|--|
| 環境 | <p>1 学校行事をはじめ、日々の学校生活におけるあらゆる場面において、環境に配慮した活動を推進します。</p> <p>2 本校の教育活動におけるさまざまな場面において、環境教育を実践できるよう努力します。</p> | <p>環境防災系の授業の一環として取組を進めた。また、PTAと協力して、年2回の美化活動を行った。</p> | <p>環境防災系の生徒のボランティア意識が高まった。PTAの積極的な参加が得られた。</p> <p>生徒の環境美化意識が低下してきており、意識向上のために、具体的な活動にどうつなげていくかが課題である。</p> |
| 図書 | <p>1 一人ひとりの要求を大切に、貸出を中心とした図書館サービスを徹底します。また、杉の子特別支援学校石薬師分校に対して、資料提供を行います。</p> <p>2 総合的学習の時間や授業で図書館を活用できるよう働きかけ、資料提供、学習支援を行います。</p> <p>3 資料の収集と廃棄を行い、学校図書館管理システム「くまたろうの森」への一本化を図ります。</p> <p>4 図書館を体験する機会をもうけ、図書館のルール、マナーについて指導します。</p> | <p>1 生徒年間貸出数 4,474 冊、1人あたりの貸出 8.7 冊。石薬師分校への貸出 1,449 冊。全職員年間貸出数 7,257 冊。(2/28 現在)</p> <p>2 沖縄修学旅行、人権学習についてはコーナーを設置し、総合的な学習の時間等で活用しやすくした。</p> <p>4 文化講座は杉の子特別支援学校石薬師分校と合同で「絵本劇場がやってくる」を実施。</p> | <p>杉の子特別支援学校石薬師分校の生徒に貸し出しを行うことができた。</p> <p>学校での読書を望む生徒の要望に応えるためにも、本を読む機会を定期的に設ける。</p> <p>授業等で図書館資料を活用してもらうため、今以上に情報収集、情報発信を行う。</p> <p>利用される資料を優先して登録し、書庫内の古い資料は廃棄を含めて検討する。</p> <p>文化講座については、石薬師分校の生徒が多く参加してくれたが、本校生徒は文化祭で開催したため、参加数が少なくなった。今後参加者を促進する工夫が必要である。</p> |

(2) 組織の状態の評価結果

| アセスメント診断から明らかになった状況 | |
|---------------------|---|
| 強み | <p>1 学年団をはじめ学校全体で、連携を密にして情報の共有を図るとともに、保護者や地域関係機関と連携を深め丁寧に対応し、課題の解決を図っている。</p> <p>2 年度末に学校の現状と課題を明らかにし、次年度の改善につなげている。</p> <p>3 校務運営に支障がないように、週に一度杉の子特別支援学校石薬師分校との会議を実施した。</p> <p>4 校内ネットワーク(みんなの広場)が活用され、情報共有が行われている。</p> <p>5 アンケートやベンチマーキング等により、積極的に情報やデータを収集している。</p> |
| 弱み | <p>1 目指すべき方向を職員間で明確に共有できていない面があり、統一した取組の実践を行いにくく、長期的なビジョンを視野に入れて活動しにくい。</p> <p>2 地域から何を求められているかが明確になっていない。また、その情報を収集する具体的なシステムがない。</p> <p>3 教員の多忙感を解消するための改善案が、あきらめ感などにより、積極的な提案が出にくい状況がある。</p> |

(3) 組織力向上のための取組(改善策)

| 次年度に向けた取組 |
|--|
| <p>目指す生徒像の、教職員間での共通認識が不足していたため、平成23年度は目指す生徒像に応じた具体的な教育実践を明確にし、授業改善や職員の満足度の向上のために取組を進めていく。</p> <p>杉の子特別支援学校石薬師分校との連携は、本校生徒にとっての強みを確認し、生徒が魅力と感じる連携を実践する。</p> |